

補助事業番号 19-138

補助事業名 平成19年度 開発途上国の通信情報基盤整備に関する調査研究等補助事業

補助事業者名 財団法人 海外通信・放送コンサルティング協力

事業項目名 モロッコ王国地上デジタル放送導入計画調査

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

- 省略 -

### (2) 実施内容

2006年5月スイス国ジュネーブにある国際電気通信連合（ITU）にて国際周波数再編成会議RRC06が開催された。モロッコ王国も当会議決議事項の対象となっており、同国は既に欧州方式地上デジタル方式（DVB-T）の採用を決定し、地上デジタル放送を開始している。RRC06の決議事項は、下記の通りである。

#### ・アナログテレビ放送の停波

基本事項として、2015年までにアナログテレビ放送を停波する。ただし、デジタル放送への早期移行が困難な国は2022年まで猶予する。更に猶予期間でもアナログ放送が停波できない国は、近隣諸国へ干渉を与えない条件で、停波期日が無いアナログテレビ放送が可能である。ただし、2015年からはRRC06で決定した近隣諸国の地上デジタル放送周波数割当てにはクレームを出せない。（2015年からはRRC06地上デジタル放送周波数割当てが最優先となる）

#### ・RRC06決議の権限

RRC06は欧州（西欧・東欧）・アフリカ・中近東・ロシア・旧CISの地域において、地上デジタル放送に特化した周波数割当て（Channel Plan）の決議であり、2015年から効力を発揮する（2015年からRRC06決議結果の周波数割当てに対しクレームは出せない）

モロッコ王国は既に欧州地上デジタル放送方式（DVB-T）を採択し、国際電気通信連合（ITU）の割当て周波数に従い、既に地上波デジタル放送送信設備の導入を開始している

本件は、このような状況下で、欧州の経済域である同国へ我が国放送分野の機械工業振興を行うことを目的として、現地調査を実施した。

### (3) 成果

本調査により、モロッコ王国の公共放送局SNRTは、情報配信の強化と安定した放送サービスを目的として、「公共テレビ放送局SNRT開発プロジェクト事業」を打ち出しており、我が国政府の支援による実現を望んでいる。

モロッコ王国は、ジブラルタル海峡を挟んでアフリカ大陸を欧州と結ぶ地政学的に重要な位置にあり、穏健かつ現実的な外交政策をとる北アフリカ・地中海地域の安定勢力として、また中東和平問題の解決にも尽力している。本調査の結果として、上記事業の実現により和平の理解と問

接的なテロ対策も期待できることが分った。

モロッコ王国は内政面では、民主化、近代化を推進しつつあり、経済面では、国内市場の開放及び外国投資の誘致による国内経済の活性化とともに、国内格差是正及び雇用促進策に取り組んでいる。放送は、例えば選挙の情報を広域かつ局域への発信できるため、上記事業により地域格差の是正も期待できることが判明した。

## 2. 予想される事業実施効果

モロッコ王国の公共放送は、二つある。一つはモロッコ政府が株の100%を有しているSNRT (Societe Nationale de Radiodiffusion et de Televisions) であり、もう一つはモロッコ政府が大株主の2Mである。SNRT、2Mともテレビ放送とラジオ放送を行っている。2007年9月現在、テレビの民間商業放送局はなく、ラジオの民間商業放送局は大都市圏を中心としたFMラジオ3局である。なお、2007年9月現在、CATVは開局されていない。

地理的に欧州と近接しているため、モロッコ国内では、衛星を介した欧米メディア (CNN, BBC, the French TV5, the UK Sky channels等) が視聴できる (有料)。このため公共放送はモロッコの文化を維持しつつ、社会経済、医療衛生、教育等へ寄与する番組を提供すると共に、政府広報やニュース番組を通じてモロッコ国民へ情報を配信する重要な役割を担っている。また、スポーツや音楽等の番組も提供している。

我が国による放送の支援・援助の方策は、防災、啓蒙活動・教育、紛争予防等の人材開発である。前記事業は、和平の理解と間接的なテロ対策を行い、モロッコ国の文化を守り、地域格差を是正することが期待でき、我が国の方策に合致したものである。

今後、我が国政府の資金協力支援が実現すれば、我が国放送関係機械工業の海外市場への進出に大きく貢献するものと期待される。

## 3. 本事業により作成した印刷物

モロッコ王国公共放送局SNRT開発プロジェクト事業フィージビリティ・スタディ

## 4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人 海外通信・放送コンサルティング協力  
(カイガイツウシン・ハウソウコンサルティングキョウリョク)

住所： 141-0031  
東京都品川区西五反田7丁目25番9号 西五反田ESビル 2階

代表者名： 理事長 清水 英雄(シミズ ヒデオ)

担当部署： 管理部門(カンリブモン)

担当者名： 管理部長 大井 文昭(オオイ フミアキ)

電話番号： 03-3495-5211

FAX番号： 03-3495-5219

E-mail: [oi@jtec.or.jp](mailto:oi@jtec.or.jp)

URL: <http://www.jtec.or.jp>